



今後も楽しいイベント続々 観光イベントの予告

まゆ玉の里 まゆ玉飾り展示のほか、まゆ玉作りも体験できます。

とき/平成21年1月26日(月)~3月10日(火)10:00~16:00

ところ/『福狸亭小川家』ロビー 一特設会場

鶴ばらい祭 中学生が練習真っ最中の鶴踊りを披露。お楽しみに。

とき/平成21年1月28日(水)16:30~18:00

ところ/湯らっくす公園・アクシスカつらぎ

パン祖のパン祭 今年のテーマは『トマトパン』!どんなアイデアが?

とき/平成21年1月31日(土)~2月1日(日)10:00~14:30

ところ/アクシスカつらぎ

おおひと梅まつり 1月上旬~3月上旬まで梅の開花が楽しめます。

とき/平成21年2月21日(土)22日(日)10:00~15:00

ところ/おおひと梅林・大仁神社境内

問合せ/伊豆の国市観光協会 電話055 948 0304

浮橋そばの里まつり

浮橋産そば粉と小麦粉を使った手打ちそばを食べに来てください。

とき/12月7日(日)11:00~

売り切れ次第終了

ところ/浮橋公民館

内容/手打ちそば・地場産もち米を使った餅・地場産農産物の販売など

問合せ/浮橋区長(小馬) 電話0558 79 0305



健康体育講座 キッズ親子体操&エアロ

親子で運動の楽しさ、味わいませんか?運動遊びの中で、風邪を引かない体力作りをしましょう。

とき/平成21年1月14日~3月11日の毎週水曜日(全8回)

初回のみ14:45~16:00 2回目以降15:00~16:00

ところ/長岡体育館アリーナ

対象/平成14年4月~平成17年3月までに生まれた子とその保護者30組

参加料/親子1組4,400円(受講料2,400円+安全保険料2,000円)

持ち物/動きやすい服装、体育館シューズ、水筒、タオル、着替え

申込み方法/八ガキに『キッズ親子体操申込み』と明記し、住所・親子の氏名(フリガナ)・性別・生年月日・電話番号を記入し、下記へ郵送。

申込み/コムネットチームパルパル 〒419 0107 函南町平井892 65

問合せ/市役所社会教育課 電話055 948 1461

初級災害ボランティア コーディネーター養成講座

災害時に全国各地から駆けつけるボランティアの受け付けや、仕事の配分などを行う『ボランティアコーディネーター』を養成する講座です。

とき 1月24日、31日、2月7日(全3回)いずれも土曜日9:30~15:30

ところ 葦山福祉保健センター

対象 市内在住または在勤の高校生以上で、災害時にボランティア活動ができる人、または興味のある人

内容 被災地体験談・避難所についての講義、災害ボランティア本部立上げ訓練、図上訓練など

定員 30人(定員になり次第締切)

申込み・問合せ 伊豆の国市社会福祉協議会 電話055 949 5818

JA伊豆の国ふれあい交流会

JA伊豆の国青壮年部員が作った農産物・地元食材を使ったイタリア料理を食べながら、青壮年部員と交流しませんか?

とき/平成21年1月24日(土)11:45集合 15:00まで

ところ/レストラン『ポッカデラベルタ』(アクシスカつらぎ前)

対象/独身女性(20~45歳くらいまで)

参加料/1,000円

申込み・問合せ/ JA伊豆の国営農販売課 電話055 949 7111(先着順受付)

六十五歳以上で一人暮らしの皆さんへ
災害時等の避難支援計画
における基礎調査訪問

突然、地震や火事が起こったら、あなたは一人で避難できますか?

市役所高齢者支援課(地域包括支援センター)では昨年度に引き続き、災害時や緊急時の避難支援体制を整備するため、六十五歳以上の一人暮らし高齢者への基礎調査を実施しています。

伊豆長岡地区はいちこの里、葦山地区は伊豆の国市社会福祉協議会、大仁地区はぬくもりの里の調査員がお宅に伺い、調査用紙による調査をさせていただきます。支援を希望する人は、そのときに個人情報提供の提供にサインと捺印をお願いします。

「これで災害時も安心ね!」

問合せ
市役所高齢者支援課
(地域包括支援センター)
電話0558(76)8010

食べ物による窒息事故を防ごう

乳幼児、高齢者は食べ物による窒息がおきやすいため、その予防や応急方法について知っておく必要があります。

乳幼児は 奥歯がなく食べ物をおもちゃだりつぶすことができません。また、食べながら遊んだり泣いたりするため、食べ物による窒息事故が起きやすくなります。

高齢者は 食べ物を食べたり飲み込む機能や唾液の出る量が少ないため、ごはんや粘りのある食べ物などを咀嚼、噛み砕くこと(咀嚼)にうまくできず、なまめ(かたまり)のまま喉に入ると窒息に至ることもあります。

気道が三六分間閉塞されると死亡することもあり、厚生労働省の統計によると、食べ物による窒息の死亡者数は、毎年四千人を超えます。

(参考)内閣府食品安全委員会 ホームページ
<http://www.fsc.go.jp>

乳幼児で窒息を起こす原因になった食べ物	高齢者が注意を要する食物形態
ナッツ類、丸いあめ、ブドウ、プチトマト、もち、ちくわ、たくあん、ソーセージ、こんにやく入りゼリー、生のにんじん、棒状のセロリ、りんご、こんにやく、肉片、ポップコーン、おせんべい、ポテトチップ	加熱しても柔らかくならないもの(イカ、タコ、きのこ類など) 硬いもの(ナッツ類など) 厚みのないもの(海苔、レタスなど) パサパサしたもの(パン、ふかし芋) 繊維の強いもの(青菜類)

窒息事故を防ぐポイント
食べ物には食べやすい大きさにして、よくかんで食べる。なるべく誰かがそばにいて注意している。

万が一、つまった時のための応急処置
一 九番通報は誰かに頼み、ただちに次の方法で詰まったものを取り除きます。

背部叩打法
乳幼児は、口の中に指をいれずに、幼児は片腕にうつぶ

図1 せに乗せ顔を支えて

図2 背中を叩く

図3 片腕を回しみぞおちの下で、腹部を上方へ圧迫します

大人や年長児では、後ろから両腕を回しみぞおちの下で片方の手を握りこぶしにして、腹部を上方へ圧迫します(図3)。この方法ができない場合、横向きに寝かすか、座って前かがみにして背部叩打法を試みます。

*高齢者は、食べ物が入った口の中にたまっているのが見えないので、まず、ハンカチやガーゼなどを巻いた指で口からかき出すことを試みます。

実践 Eco Life

あなたもできる

十月二十日、市では『エコアクション21』の環境方針を定めました。これを皆さんに公開し、職員で行動していきま

環境方針の基本理念
市では、環境問題改善を重要な課題と位置付け、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向けた施策を推進します。

八つの基本方針
環境意識の高揚
職員は、常に環境配慮の意識を持ち業務を実施
環境保全活動の推進
各部署で環境目標、環境活動計画を定め、その達成のための取組を実践
廃棄物削減のための3R

活動の推進
職員はごみの分別について正しい認識を持ち、廃棄物の発生抑制、再使用や再生利用を進め、排出量の削減を図ります。
省資源・省エネルギー
取り組みによる二酸化炭素発生量の削減
電気、燃料、水道水等の使用量削減の励行
グリーン購入の推進
市の施設の購入物品のグリーン購入率を向上
環境教育の実施
環境講座や環境学習を実施
法規制の遵守
環境情報提供の推進
環境に関する情報を市民、企業、行政が共有できる体制づくり

詳細はホームページで公開中!

問合せ 市役所環境政策課 電話055 949 6804